



福祉よこはま

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会



「福祉よこはま」は、横浜市が編集に協力しています

特集

住み慣れた街で
あなたの隣で
共に暮らしてみよう

大好きなマリンバを練習する
森 慶太郎さん(7月14日撮影)
→詳しくは特集で

もくじ

★ 福祉の仕事：障害担当保健師 P4

★ レットライボランティア：スポーツには「ささえる」楽しみもある！
スポーツボランティア活動 P5

★ 市社協情報：10月1日から赤い羽根共同募金が始まります！ P6

ここから最新号と
バックナンバーを
ご覧になれます

福祉よこはま 検索



住み慣れた街で あなたの隣で 共に暮らしていく

年齢、性別、障害の有無、国籍など、その人の立場や背景に関わらず、誰もが住み慣れた街で当たり前で暮らしていく。そのために必要なのは、同じ地域に暮らす人々の理解です。

障害のある子とその家族が街の中で紡いできた暮らし。その月日の積み重ねは、見守りの目や理解者を増やし、親子にとって暮らしの安心やいざという時の心強い味方を得られるものでもありました。

同じ街の住民としてお互いの存在を認め、街の中でつながることの大切さを、森さん親子の18年からひも解いていきます。

1時間ごとに目をさまし 1時間泣き続ける

生後半年過ぎたあたりから小学校に入る頃までは、毎日夜中1時間ごとに目をさまし、1時間泣き続けるため、**ほとんど眠れない数年を過ごしました。**

周りの子との違いを感じていた中、2歳で自閉症と診断されましたが、自分が頑張れば治せるものだと、**必死に勉強していました。**

様々な制度や活動がある 横浜へ

子どもが何を思っているのかコミュニケーションが取れず、また突然パニックを起こすため出かけることもできない大変な日々。もし親が病気などで一人でも欠けたら・・・働きながら一人で育てることを想像できず、ますます気持ちは追い詰められていきました。

早く落ち着いた環境にと、地域療育センターや地域訓練会の情報を調べ、3歳の時に横浜へ引越してきました。

この子も幸せに暮らしていけるのかもしれない

地域訓練会で、子どもへの接し方などを教えてもらったり、先輩ママたちに大変さを共感してもらったことで、少しずつ気持ちが前向きに変わっていきました。

また、地域訓練会の会場だった障害者地域活動ホームへ楽しそうに通う人を見ることで、**大人になる姿を想像できるようになり、この街で幸せに暮らしていけるのかもしれないと思えるようになりました。**



◀意思疎通が難しかった幼少期

幼少期



◀マリンバに出会った小学生の頃

小学生・中学生

「きいろ記念日」

4歳の時、初めて話した言葉が「きいろ」。奇跡的に両親が揃っている時に聞けた記念日です。言葉だけでなく、嬉しいときの顔など、**子どもの気持ちに分かることが少しずつ増えていく、それがとても嬉しかったです。**

温かく見守ってくれる ご近所さん

ご近所の方から嫌な目で見られたことや苦情を言われたことはありません。息子を小さい頃から知り、**温かく見守ってくれていることがとてもありがたいです。** 周りに目が向くことで、優しいまなざしにも気づけるようになりました。

災害時には息子を 気にかけてくれる心強い存在

中学生になり一人で家にいる時に災害があったら・・・と町内会で行っていた災害時要援護者カード*を出しました。すぐに町内会長さんが来て、災害時の安否確認の方法を話し合いました。呼び鈴を鳴らしても返事がなければ、窓ガラスを割って確認してくれることになりました。

いざという時、近くに気にかけてくれる人がいるのは本当に心強いです。

*災害時に自力で避難することが困難な要援護者を、自治会・町内会などで独自に登録し支援する取組。

◆ 地域療育センター

0歳から小学校期までの障害のある子どもの療育に関する相談・診療・指導等を行っています。

◆ 障害児地域訓練会

障害のある子どもたちの家族が自ら会を運営し、ボランティアの支援を得て様々な活動を行っています。

◆ 障害者地域活動ホーム

地域で暮らす障害のある子どもから大人、その家族の地域生活を支援する拠点です。

▼新金沢公会堂のこけら落とし公演で、松田音楽教室の皆さんとマリンバコンサートに出演しました



横浜での15年を振り返って そしてこれから・・・

本当に恵まれた15年間だったと思います。

地域療育センターや学校の先生からは親身になって接していただき、子ども達からも「けいちゃん、けいちゃん」と仲良くしてもらった結果、全く言葉が出なかった慶太郎とたくさんの会話ができるようになりました。

慶太郎自身も頑張りましたが皆さんのお陰だと思っております。本当に感謝感謝です。慶太郎が20歳になったら、是非とも一緒にお酒を飲みたいですね。 (父)



▲森さんご夫婦と慶太郎さん

養護学校の高等部を卒業して、一人で通所先から帰宅していることをご近所の方に言ったところ「お母さん、楽になったね！良かったね！」と。

ずっと私が登下校で付き添っていたのを見てくださっていたのだと思いました。そんな温かい言葉に励まされて子育てをしてきたように思います。

まだまだ、子育ては続きますが多くの方に支えていただきながら、頑張っていきたいと思います。

慶太郎へ。これからも一緒にマリンバを弾こうね♪あなたと一緒に楽しめることが何よりの幸せです。 (母)

「バスに乗る」ことの 難しさ

高校に通うため、駅までバスに乗る必要がありました。人に迷惑をかけないよう、「リュックは前に持つ」「折り畳み傘はしまう」など毎日付き添い一つずつ教えました。1年後そろそろ一人で乗れると思った矢先、カバンが当たった方から怒られパニックになってしまい、一度はバスに乗ることをあきらめました。

優しい声かけに 救われた

しかし、これからもこの街に暮らす以上あきらめてはいけないと、再度練習を始めた時、同乗していた方から「これからも大事に育ててあげてね」と優しく声をかけてもらったことが忘れられません。

息子を見守ってくれている人がいたことがとても嬉しかったです。



親子でマリンバを楽しんでいます▶

高校生～



◀中学生になり一人で行動する機会も増えました

親亡き後の人生のために

成人を迎える息子の将来のために、横浜市障害者後見の支援制度の利用登録をしました。

親がいる間から長い目で息子を見てもらうことで、一人になった時、些細なことも相談できればと思います。少しでも息子の将来が笑って過ごせるように願っています。

ここに
いてもいいと
思える街へ

どんな理由があってもしてはいけなことは教えていかなければなりません、簡単なことではありません。

迷惑をかけることもあるかもしれませんが、ここにいてもいいよと言ってくれる人が一人でも多くなる社会、障害があっても共に暮らしていける街であることを願っています。

◆横浜市障害者後見の支援制度

制度に登録した障害のある人に寄り添い、本人が願う暮らしの実現に向けて、地域の方たちの協力も得ながら、見守りの体制づくりを進めていきます。

問合せ

横浜市社会福祉協議会

- ・障害者支援センター ☎ 681-1211
- ・企画部企画課 ☎ 201-2090



障害担当保健師

西区福祉保健センター 高齢・障害支援課で
障害担当保健師として働く

しば た
柴田 みえさん に聞きました

地域に暮らす障害のある方とご家族が
健やかに過ごせるようお手伝いを
しています。

この仕事を選んだきっかけ

- ▶ 医療現場で看護師として働いていた時、健康の大切さを痛感し、病気にならないためのお手伝いがしたいと思い、保健師を目指しました。採用された当時、地区担当の保健師として子どもから高齢者まで地域の健康問題全てに関わっていたことが、今活かされています。

日々の仕事

- ▶ 区全域の障害者支援に関わります。個別支援では、療養支援のための面接や家庭訪問に加え、受診同行、カンファレンスへの出席、医療やサービスにつながる前の緊急対応も担います。集団支援では精神障害の方が通う生活教室、地域住民向けの啓発イベントや講座の運営、障害者事業所向けの出張健康教育など多岐にわたります。

心がけていること

- ▶ 障害のある方の中にはご自身の状況をうまく伝えられない方も多くいます。面接や訪問などを重ねていく中で、ご家族からお話をしっかり聞くことに加え、ご本人の顔色やご家族との様子など、以前と違う状況や発しているサインがないか、見逃さないよう接することを心がけています。

喜び・やりがい

- ▶ 病気や障害でこれまでの生活を続けることが難しくなっている方に対して、本人の意向を尊重しながら医療やサービスへの柔軟なつながりをする中で、その人らしい生活が安定していく時に喜びを感じます。また、東日本大震災をきっかけに医療ケアの必要な患者さんの災害対策に取り組みました。医療ケアの必要な患者さんと支援者へのアンケートをもとに作成した「わたしの災害対策ファイル」では、患者さんが自分自身を守るために、必要な備えや発災時の対応を確認してもらっています。訪問看護ステーションと連携して患者さんの手にファイルが届いた時は、障害担当の保健師として取り組んで良かったと思えました。

この仕事を目指す人へ

- ▶ 行政保健師の仕事は一言で言い表すことが難しいので、もしかしたら少しイメージしにくいかもしれません。それでも、「わたしの災害対策ファイル」のように地域で暮らす人々が直面する様々な健康課題に対して、住民の声を事業や施策に反映することができるのは醍醐味の一つです。

障害担当保健師とは

各障害の特性に応じた生活課題の解決や自立に向けた指導・助言を行うとともに、障害特有の健康問題への予防的な支援、難病患者等への制度の情報提供を行います。また、当事者や家族のネットワークづくり、地域住民への障害等に対する啓発による理解促進など、地域に向けて幅広い支援を行っています。

横浜市における保健師

横浜市では18区の福祉保健センターの福祉保健課、高齢・障害支援課、こども家庭支援課を中心に配属され、市民に寄り添い、病気を予防する取組みや、障害があってもその人らしく生活できるよう、健康課題に対し総合的な支援を行っています。



▲他職種と互いの専門知識を持ちよりカンファレンスをする
ことで、より良い支援に結び付けています

接することの多い人たち



◆ この記事に関するお問合せは ……………
西区高齢・障害支援課障害担当 ☎ 320-8418

横浜市内の
福祉人材に
関する
求人情報 ⇨



ウェルじゃん
求人情報



横浜市
介護人材情報

Let's try
ボランティア



スポーツには「ささえる」楽しみもある!

スポーツボランティア活動

★横浜市スポーツボランティアセンター（運営：公益財団法人横浜市体育協会）★

横浜市スポーツボランティアセンター（以下、スポーツボラセン）は、市内で開催されるスポーツイベントと、それをささえるボランティアの皆さんを応援しています。横浜マラソン、ITU 世界トライアスロンシリーズ横浜大会や横浜シティウォークなどのスポーツイベントで活動するボランティアを募集するほか、専門家を講師に迎えるボランティア養成研修・講演会なども実施しています。事務局の小湊さんと木村さんにお話を伺いました。

スポーツボラセンへ
ようこそ、ボラちゃん



▲横浜市体育協会の事務所にて
（写真左：木村さん、写真右：小湊さん）

こんにちは！
今日はよろしくお願ひします
自転車が「カッコいいですね！」



▼ボランティア活動中の様子
写真提供：
横浜マラソン組織委員会



スポーツボランティアは、活動するスポーツイベントの様々なことをサポートします。

例えば、マラソン大会では給水所やコース誘導などがあり、活動しながらスポーツイベントに参加している選手の皆さんを応援することも大切な役割です。

スポーツボランティアに興味のある皆さんへ

ボランティア経験のある方は、やわらかなまなざし、細やかな気遣いで相手と接していると思います。これはスポーツボランティアにも欠かせないことであり、スポーツイベントの満足度を高め、選手を元気づけます。

そして、活動した方の多くは、スポーツボランティアを通じて仲間ができて、生きがいを感じています。興味のある方にはぜひ、スポーツボランティア活動の素晴らしさを体験していただきたいです。

◆スポーツボラセンへの
問合せ
☎ 211-4288

左：木村さん、
右：小湊さん▶



登録して希望するスポーツでボラデビュー!

スポーツボラセンの公式サイトからどなたでも無料で登録できます。スマートフォンやパソコンからお申し込みください。

スポーツ
ボラセンの
HPはこちら



1 登録手続き

公式サイトトップページ「会員登録」から、案内にしたがって手続きを進めます。登録手続きが完了すると「会員ID」が発行され、「マイページ」にログインできます。

2 ボランティア活動への申込み

「マイページ」にログインし、「イベント情報」から希望するボランティア活動へエントリーします。

3 活動決定

活動が決まると、その旨の連絡が届きます。そして、当日はボラ・デビュー!

スポーツを「ささえる」ボランティアって?

横浜マラソン 2018 で受付やコース誘導などのボランティア活動を経験し、ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックのボランティアにもエントリーしている池谷さんにお話を伺いました。



▲池谷さん

今までスポーツはやるもの、または観るものだったのですが、東京オリンピック開催が決まったあと、ニュースの中で「スポーツの醍醐味は、『する』『見る』『ささえる』である」とありました。そこで『ささえる』とは?と思い、人一倍好奇心旺盛な私は、スポーツボランティアにチャレンジすることにしました。

ボランティア活動中に『する』方々からの「ありがとう」がうれしく、この大会を支えているという誇りを持てます。『ささえる』ことを通じて「スポーツの醍醐味」を体現でき、すっかりやみつきになりました。

普段の生活で、大声を出すという機会は少ないかと思いますが、ボランティア活動中に大きな声で力一杯応援する事は、ストレス発散にもなります。また、社会貢献という面からも非常に有意義なので、皆さんもぜひトライしてみてください。

スポーツボランティアのほか、キャンプリーダーとして、地元自治会の親子キャンプの主催・運営や、畑を借りて近所の方々と農作業を行う会の世話役など、マルチに活動している池谷さんです。

▼トライアスロンと一緒に活動した仲間と達成感を感じながら…
（写真中央：池谷さん）



横浜市ボランティアセンターより

ボランティアに興味がありましたら、横浜市ボランティアセンターまたは各区ボランティアセンターへご相談ください。

問合せ

横浜市ボランティアセンター
☎ 201-8620

HPはこちら▶



各区
ボランティアセンター

HPはこちら▶



今年のPR大使は鳥のカグー「ミドリン・ムラリン」に決定!



10月1日から
赤い羽根共同募金がはじまります!

今年国内で唯一、野毛山動物園で飼育されている鳥のカグーが共同募金PR大使に就任されました!

共同募金は、地域で活躍する福祉団体や福祉施設の活動支援に役にたれます。ミドリン・ムラリンとともに、共同募金を応援してください!

PR大使就任式開催!

日時 10月12日(土)
12時15分～(予定)

場所 野毛山動物園
カグー獣舎前

共同募金も
よろしくね



特別お食事タイムを予定しています!

【問合せ】横浜市社会福祉協議会 地域福祉課
☎ 201-8617

賛助会員のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。平成31年4月1日～令和元年7月20日 新規受付・継続受付分

団体会員

- 株式会社 飯島ガーデン
- 有限会社 アーバンハウス
- 株式会社 サンリフォーム
- NPO法人 神奈川県腎友会
- 横浜商工会議所
- 株式会社 江戸清
- 株式会社 アースアンドウォーター
- 行政書士リーガルプラザ

個人会員

- 加藤 仁美
 - 山田 篤
 - 石田 隆
 - 齋藤 史郎
 - 須藤 安三
 - 森田 晃一
- 順不同・敬称略

【問合せ】横浜市社会福祉協議会
総務部 総務課
☎ 201-2096

詳しくはホームページをご覧ください▶



みんなのきもち あいがとう

みなさまから寄せられたご寄付は、市内の市民活動団体、障害児・者団体の支援のため、有効に活用させていただきます。

よこはまふれあい助成金
(助成事業)

特定非営利活動法人 アロハグレイス
「障がいがあってもHAPPY! 親子のきずなを深めるフラダンス」

核家族化や共働きの家庭が増えていく中、障害のあるわが子にどう接したらいいのか、同じ境遇の人はどうしているのか、気軽に相談できる知り合いを作る機会もなく、孤立し不安をかかえている家庭があります。

アロハグレイスの活動は、障害のあるお子さんのお母さんからの「子どもを受け入れてくれるお稽古がない、家族と一緒に楽しめる機会が欲しい」とのお話がかきかけで始まりました。現在では、市内全域からたくさんの親子が集まってくれています。そしてお子さんだけでなくお母さんにとっても「自分も楽しめる時間」として心身のケアにつながり、お母さん同士が仲良くなっていく姿を見ると、この活動の大切さを改めて感じます。

ありがとう
メッセージ

「オハナ」とは
ハワイ語で「家族」という意味です。

障害のあるお子さんと家族のためのフラダンス教室を、私たちは「オハナフラ」と名づけました。この活動を通してたくさんの家族の絆が深まり、大きな「オハナ(家族)」になれるよう願っています。

いただいた助成金でボランティアが充実し、親御さんたちが安心して楽しめています。これからも、この活動を必要としている家庭にお届けできるよう精進してまいります。今後とも応援をよろしくお願いいたします。



▲親子で楽しいフラダンス、練習後にみんなでバイナッブルのポーズ

横浜市ボランティアセンターでは、寄付のご相談をお受けしています。☎ 201-8620

寄付者のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。順不同・敬称略 平成31年4月1日～令和元年6月30日受付分

善意銀行 金銭寄付者

- 日清オイリオグループ 株式会社
- よこはまシニアボランティアポイント登録者
- ブックオフコーポレーション 株式会社 (2件)

善意銀行 物品寄付者

- 株式会社 セブン-イレブン・ジャパン
- 宮内建設 株式会社
- KDDI 株式会社 南関東総支社
- 稲澤 美代子
- 横浜信用金庫 (2件)

よこはま あいあい基金寄付者

- 宗教法人 世界平和統一家庭連合 横浜家庭教会 (3件)
- よこはまシニアボランティアポイント登録者
- 藤巻 英子

障害者年記念基金寄付者

- ふれあいチャリティーバザー実行委員会 (2件)
- 横浜カ・レイ・ロケラニフラスタジオ
- よこはまシニアボランティアポイント登録者
- パナソニックホームズ 株式会社 神奈川支社 (4件)

福祉基金寄付者

- よこはまシニアボランティアポイント登録者

ヨコハマ寄付本寄付者

- 高橋 美穂子
- 中なかいいネ!
- 横浜のおばあちゃん (3件)
- 栄区民一同 (2件)
- 横浜市民

- 中臣 紀代
- 横浜移動サービス協議会
- ウィリング横浜利用者一同
- つくる会
- いづみの会 (3件)
- 株式会社 マインズクリエイト
- 横浜市東永谷地域ケアプラザ (2件)
- 横浜市反町地域ケアプラザ (2件)
- 横浜市東戸塚地域ケアプラザ (2件)
- 横浜市豊田地域ケアプラザ
- 横浜市東永谷地域ケアプラザ
- 社会福祉法人 横浜市瀬谷区社会福祉協議会
- 社会福祉法人 横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会
- 横浜市社会福祉センター 利用者一同
- 匿名 (29件)

みんなの声



前号の感想

地区社協は子育てにも寄り添って頂けるんですね。出産前に情報集めを色々しておくべきだったと今になって思います。
(港北区 M・U)

「ぼこぺん」の活動が紹介されているが敷居が低くて、明るくて、ちょっと行きやすい場だとの印象です。他の地域でもこんな活動があると良いですね。
(青葉区 Y・H)

SSWの仕事は初めて知りました。いじめ、不登校、暴力行為、虐待と、余りにも広範囲な問題の解決に向けるという支援一大変な事だと思いました。頑張ってください！
(戸塚区 N・K)

スクールソーシャルワーカーの存在は、子どもたちにとって大きな存在だと感じます。何人いても足りないくらいの業務量だと思いますが、子どもたちが健康的な日々を過ごせるように様々な機関との連携を期待しています。
(磯子区 Y・F)

学校でのいじめや子どもへの虐待の報道が後を絶ちません。都筑区やSSWのようなまちぐるみ、学校や関係機関との連携が広がり、子どもが楽しい世の中だと思えるような時代になればと思います。
(南区 U・T)

スクールソーシャルワーカーの方が実際どのような仕事をされているのか興味があったので知ることが出来て良かったです。現在4・2・0才の子育て中です。さらに子育てがたのしくなりそうに思えるお話がでていて励みになりました。これからも楽しみにしております。
(鶴見区 有本 瞳さん)

軽い知的障害のある娘が来年高校生になります。子どもが大きくなるほど不安で心配になります。障害が軽いのは案ではなく、むしろ人に理解されにくく頼りにくいのです。誰もが支えあえるようになるとうい願います。
(海老名市 N・I)

福よこクイズ

ご応募・ご感想
お待ちしております！

地域活動支援センターいなほの「藍染タオル&箸置きセット」プレゼント！

地域活動支援センター「いなほ」は港南区にある知的障害や発達障害のある方が働く作業所です。フェルトの小物や藍染などの製品を作っており、箸置きは組みひもの技法を応用したオリジナル製品です。箸袋やラッピングも心を込めて手作りしています。金曜日に港南区役所、第1・第3火曜日に市営地下鉄上大岡駅で販売しています。



応募方法

はがき・FAX・Eメールにて、右記をご記入のうえお送りください。

抽選で**15名**の方に

プレゼントを差し上げます。

締め切り：

令和元年10月31日(木) 必着

【応募先】

〒231-8482

横浜市中区桜木町1-1

横浜市社協

「福よこクイズ」係

FAX：045-201-8385

Eメール：fukuyoko@yokohamashakyo.jp

【個人情報取扱】

※応募に関わる個人情報については、当選者への発送及び福祉よこはま紙面作成の参考のためにのみ利用させていただきます。

【項目】

- 1) Q1~3の答え
- 2) 郵便番号・住所
- 3) 氏名(ふりがな)
- 4) 年齢 5) 電話番号
- 6) 福祉よこはまの入手方法
- 7) 福祉よこはまの感想
- 8) 「みんなの声」次号掲載時の氏名の掲載可否(匿名希望の場合はイニシャルを記載)



- Q1** 特集：横浜市障害者〇〇〇支援制度は障害のある人を支援している人や地域住民が、日々の生活の中で見守る横浜市独自の制度です。(漢字3文字)
- Q2** 福祉の仕事：今回インタビューした柴田さんは、「〇〇担当保健師」として活躍しています。(漢字2文字)
- Q3** 市社協情報：赤い羽根共同募金 今年のPR大使は日本で唯一野毛山動物園で飼育されている、鳥の〇〇〇、ミドリン・ムラリンです。(カタカナ3文字)

前号192号の福よこクイズの答えは、Q1：ぼこぺん Q2：SSW Q3：4 でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

編集後記

年齢・性別・国籍など、様々な状況や背景の人が街を形作り、それが魅力でもあります。街の中に「自分と同じ人」はどこにもおらず、当然私も他の人から見れば「自分と違う誰か」です。お互いの存在を認め、違いを知ろうとするところから理解が始まり、理解することにつながり、そして支え合える、それもまた街がもつ魅力だと感じました。

次号▶No.194 令和元年12月 発行予定

発行：社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1
☎045-201-2090 FAX：045-201-8385
Eメール：fukuyoko@yokohamashakyo.jp
URL：http://www.yokohamashakyo.jp

デザイン：株式会社 オールスタッフ

「福祉よこはま」は、共同募金配分金の一部を活用して発行しています。

広告

例えば

アナタも身近な「見守りの担い手」に！

- ☆ご近所のお茶会などで契約トラブルの情報交換
- ☆消費者被害にあって困っていたら消費生活センターを案内

高齢者に多い消費者トラブル

- ① 公的機関をかたった架空請求ハガキ・封書
- ② 無料点検からの強引なりフォーム工事勧誘
- ③ 偽のウイルスセキュリティソフト

横浜市消費生活総合センター

消費生活相談電話

TEL.845-6666

FAX.845-7720



平成31年度 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金		1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ		
葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)			
賠償責任	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		

年間保険料(1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ※ (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増引適用

※天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償します(天災危険担保特約条項)が、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

●後遺障害も
フルカバーなので
安心です!!

保険金をお支払いする主な場合

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。(ケガの補償)
- 活動に向かう途中、交通事故にあって亡くなられた。(ケガの補償)
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になって入院した。(ケガの補償)
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花びんを落としてこわした。(賠償責任の補償)

ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動や
ボランティア活動の
さまざまな行事における
ケガ、賠償(主催者責任)
を補償!!

保険金額

A・B・Cプラン共通 (A・B・Cプラン共に熱中症危険補償特約セット)

保険金の種類		補償内容	
ケガの補償	死亡保険金	400万円	
	後遺障害保険金	400万円(限度額)	
	入院保険金日額	3,500円	
	手術 保険金	入院中の手術	35,000円
		外来の手術	17,500円
通院保険金日額	2,200円		
賠償責任	対人事故	1名・1事故 2億円(限度額)	
	対物事故	1事故 1,000万円(限度額)	

※賠償責任の補償の限度額は、補償の対象となるリスクの種類ごとに適用されます。

保険料(1名あたり)

団体割引15%適用済

※詳しい内容は、パンフレットをご覧ください。

Aプラン(宿泊を伴わない行事)			
A1の行事	A2の行事	A3の行事	
1日 28円 (最低保険料 560円)	1日 126円 (最低保険料 2,520円)	1日 248円 (最低保険料 4,960円)	
Bプラン(宿泊を伴う行事)			
1泊2日(2日間)	2泊3日(3日間)	295円	
Cプラン (A1区分で宿泊を伴わない、かつ参加者が事前に特定できない行事)			
1日 28円(最低保険料 560円)			

送迎サービス補償

(傷害保険)

- ◆送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定期間費用保険(オプション))

- ◆ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。